



観戦者のみ募集!

ビブリオバトル開催!

観戦者は申込不要です。当日直接会場にお越しください!



全国大学ビブリオバトル 2023
東北ブロック予選会

2023.11.9 (THU)

15:30-17:00

「ビブリオバトル」とは?

本の紹介コミュニケーションゲームです。
バトラー（発表者）がおすすめ本を1人5分でプレゼンし、観戦参加者が一番読みたい本に投票、「チャンプ本」を決定します。
レジュメ配布や原稿の持込、パワーポイント等は使わず、しゃべり1本で勝負!

ビブリオバトルの
詳細はこちらから!



「観戦参加者」の役割

バトラーのプレゼンを聞いて、自分が一番読みたい本と思った本に投票してください。あなたの一票によって「チャンプ本」が決まります。

面白そうな本を見つけたい方、いつかビブリオバトルに出てみたいと思う方は、ぜひお出で下さい。

なお観戦参加者は事前申し込み不要です。大会の当日に直接会場にお越しください。

***バトラーは定員に達しましたので、お申し込みを締め切りました。**

会場 : 東北学院大学土樋キャンパス
中央図書館1階 学習室

対象 : 東北圏内の大学生・大学院生・
高専生（4年生以上）・専門学校生

バトラー定員 : 6名 (バトラー枠は定員に達しました)

X (@TGU_Lib) はじめました



図書館の最新情報をお届けします。学生の皆さまと図書館をつなぎ、次のような情報を提供していく予定です。是非チェックしてみてください。

1. **館内展示のご案内**：図書館スタッフが選んだ本を紹介する館内展示についてお知らせします。
2. **新着書籍&電子ブックのおすすめ本紹介**：新着本のなかで学生の皆さまに役立つ本、面白い本を図書館スタッフが選んでご紹介します。
3. **テーマ別本の紹介**：気軽に読める本から専門書まで、様々な切り口で本の情報をお届けします。
4. **図書館の賢い使い方**：電子ブック、データ検索、多読本、学習室の使い方など図書館を有効に使うためのミニ情報をご紹介します。
5. **学生イベントの告知**：ビブリオバトルや学生選書ツアーなどのイベント情報をお届けします。

電子ブック試読&購入リクエストサービス

期間：2023年10月2日～2023年12月1日

スマホやPCで
24時間
試し読み

電子ブックを読んで
みませんか？

リクエストいただいた書籍は
図書館での購入を検討します。

学認経由で
学外からも
利用可能



紀伊國屋書店 (KinoDen)、丸善雄松堂 (Maruzen eBook Library) の電子ブック試読&購入リクエストサービスを期間限定で実施します。閲覧は学認経由で学外からでも可能ですので是非ご利用ください。

※利用対象：本学在学学生・教職員

- 対象 KinoDen 及び Maruzen eBook Library の電子ブック
- URL **KinoDen** : <https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tgulib/>
Maruzen eBook Library : <https://elib.maruzen.co.jp/>

電子ブックへのアクセス



KinoDen



Maruzen eBook Library

※試読時間は5分間です。

タイムアウトになった場合、再度接続してください

図書館ホームページのリニューアル

9月29日より図書館ホームページが新しくなります。
デザインや性能が一新され、知りたい情報が一目でわかるようになります。

The screenshot displays the updated library homepage. At the top, there's a navigation bar with the library logo, name, and icons for calendar, access, contact, and search. A sidebar on the left lists opening hours for various library branches and a navigation menu with categories like '利用案内' (Usage Information), '資料を探す' (Find Materials), 'MyLibrary', '学生の方へ' (For Students), '教員の方へ' (For Faculty), 'よくある質問' (Frequently Asked Questions), and '貴重図書コレクション' (Rare Book Collection). The main content area features a search bar with a 'まとめ検索 (TGUサーチ)' (Summary Search) button and a search input field. Below the search bar are buttons for '蔵書検索 (OPAC)', 'データベースリスト', and '電子ジャーナル・電子ブック'. A 'TOPICS' section highlights recent events like 'X (旧Twitter) はじめました', a book competition, and an exhibition. A 'NEWS' section lists recent updates with dates and titles.

※一部 WEB サービスの接続先 (URL) が変更になります。

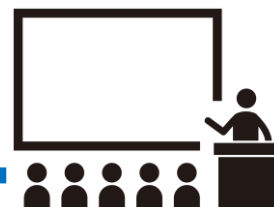
お気に入り (ブックマーク) 登録をしている場合は接続先の変更をお願いします

※MyLibrary は図書館ホームページや OPAC 画面からログインできます。

これまでと同様、学生要望図書や図書購入申込み、文献複写の依頼を行うことができます。

パスワード等のアカウント情報に変更はありません。

図書館利用説明会のお知らせ



9月15日より後期図書館利用説明会の受付を開始しました。授業・ゼミ・卒論などの課題・調査・研究に役立つ内容となっていますので、ゼミ単位や授業単位でご参加ください。(図書館開館日のみ実施)

1. 対象：学部学生、大学院生
2. 期間：2023年9月25日～2024年1月29日 月曜日から金曜日の3校時または4校時
3. 内容：(1) 図書館ガイダンス (①60分 or ②90分) (2) 情報検索講座 (③60分 or ④90分)
(3) 法律情報検索講座 (⑤60分 or ⑥90分)
4. 申し込み方法：お申込み専用フォーム (URL： <https://forms.gle/UHJYcRLovvr156st8>)

※「@g.tohoku-gakuin.jp」でログインしてください。

先生の本棚

本学教員に、オススメの1冊を紹介していただきました。
図書館で借りることもできますので、ぜひご一読ください。

経営学部・経営学科

『力と交換様式』

松村 尚彦 先生

柄谷行人著 岩波書店, 2022

中央図書館所蔵

資本主義は、経済的な格差、気候変動、人間の孤独など深刻な問題を引き起こしている。こうした資本の力に対抗するために、様々な社会運動が繰り広げられてきたが、今に至るまでその破壊的な力は止まることがない。

著者である柄谷氏は、マルクスの『資本論』を独自の視点から解釈し直すことによって、資本主義の弊害を乗り越える新しい社会が、人間の努力によるのではなく、「人間の意志を超えて働く力が『向こうからくる』ことによって出現する」のだと主張する。柄谷氏は、マルクスの思想に対するラディカルな再解釈が評価され、2023年4月に哲学のノーベル賞と呼ばれるパーグルエン賞を受賞した。



地域総合学部・地域コミュニティ学科

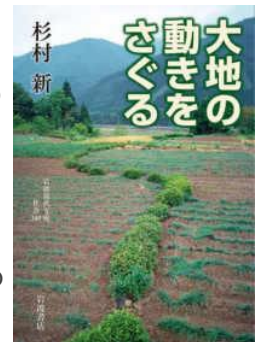
『大地の動きをさぐる』

目代 邦康 先生

杉村新著 岩波現代文庫, 2023

中央図書館分室所蔵(1973年版)

日本でしばしば発生する地震は、地球の表面を覆うプレートの活動によるものです。その研究は、日本では1970年代以降に進みます。その知見はプレートテクトニクスとしてまとめられ、現代では地球を理解する根本原理の一つになっています。この本では、地質学、地形学、地球物理学といった各分野の成果から、「大地のうごき」を、平易に解説しています。初版は1973年に出版され、その50年度の2023年には文庫版が出版されました。地球の営みの本質を示している本であるため、子供だけでなく多く専門家にも読みつがれています。



国際学部・国際教養学科

『核戦争の瀬戸際で』

松谷 基和 先生

ウィリアム・J・ペリー著 東京堂出版, 2018

コラトリエ・ライブラリー(図書館)所蔵

2022年2月に開始されたロシアによるウクライナ侵攻は、深刻化の一途を辿り、核戦争の可能性まで囁かれている。著者のペリーは1990年代に米国国防長官としてウクライナに配備された旧ソ連の核兵器の廃絶をロシア・ウクライナの国防当局との協調の末に成し遂げた人物である。この経験をもとに彼は一貫して米国が核大国ロシアを重視した慎重かつ包容的な外交政策・核政策の重要性を唱えてきた。本書を読み直せば、彼の警告を無視した米国の政策が今回の危機の伏線にあることが一段と明瞭になる。



教養教育センター

『ミドルマーチ』

信太 光郎 先生

ジョージ・エリオット著 廣野由美子訳 光文社古典新訳文庫, 2019

コラトリエ・ライブラリー(図書館)所蔵

作者のジョージ・エリオットは、ダーウィンの同時代人であり、ハーバート・スペンサーとも交際があった。革新的な進化理論が生み出された19世紀イギリスの時代精神が、この作品の底にも流れている気がする。主人公の一人ドロシアは、理想にもえた結婚生活に失望したかと思えば、恋人の裏切りへの絶望のなか保った分別から幸福を掴み取る。結局ドロシアは、聖女にも悲劇の主人公にもなれない人生を送ったのだが、しかし、そうした無名な人々の「生きよう」とする姿勢そのものが、人間世界をより良きものにしていくのだと作者は考えている。これはダーウィンが、大小問わず個々の生き物の生存への努力こそが、生物界全体の進化の原動力であるのを見出したことと通じているように思われる。



お探しの本が見つからない場合は、図書館カウンタースタッフへお問い合わせください。